

# 上毛のいぶき

vol. 9

Contents

広がり始めた地域づくり活動事業	2
地域づくりクローズアップ	4
地域づくり活動事業成果発表会	6
地域づくり活動事業公開認定会	8
投稿ひろば	10
動き出す地域づくり協議会	12

夏

JUNE.2011 <http://www.town.koge.lg.jp>

## 上毛の魅力 伝えます

体験型のイベント「ほたるのひかり」で  
ガイドを行う三田実さん

詳しくはP3、クローズアップで



### 上毛町地域づくり協議会

## 設立趣意書

**上**毛町は、平成18年度に新しいまちづくりの指針となる「第1次上毛町総合計画」を策定し、翌19年度には、町民が主体となって、総合計画を補完する「上毛町コミュニティ計画」を策定しました。この計画は、第1次総合計画の4つの基本目標に沿って地域及び町全体の課題を掘り起こし、その解決のためのプロジェクトについて提案を行っており、住民自治に基づく新しい時代のコミュニティづくりを推進し、さまざまな課題を解決することを目的としています。

**平**成20年度には、コミュニティ計画88プロジェクトを実施するための「上毛町地域づくり活動事業」が創設されました。実際にプロジェクトを実行する組織として「地域づくり活動団体」が公募され、その活動の初動期である3年間に限り活動費の支援が行われてきました。この事業により、町民がまちづくりに参画できる体制が整備され、地域が抱える問題の解決や身近にある資源を活かした地域の活性化など、町民の誰もがまちづくりの主役になり、地域に貢献できるようになりました。

現在では、29団体が地域づくり活動団体として認定され、延べ445人の町民の方がまちづくりに参画しています。

**各**団体は、活動費の支援期間内である3年間で、それぞれ自立に向けた取り組みや努力を行ってきたものの、自主運営できるまで成長しているとは言えず、支援なしに現行どおりの活動を維持して行くことは困難な状況と考えられます。

**そ**こで、各団体の代表者が集まり、今後も活動を継続し地域に貢献していくための方策を検討した結果、事業の縮小は避けられないものの、各団体が協力・連携することで財源不足を補い、活動の継続を図ろうという方向性が導き出され「上毛町地域づくり協議会」を設立することとしました。

**私**たちは、住んで良かったと思える上毛町を町民の力で次世代に引き継いでいくために、地域づくり活動を継続していきます。

## 動き出す地域づくり協議会

### 「住んで良かったと思える上毛町を 住民の力で次世代に引き継ごう」

「住んで良かったと思える上毛町を住民の力で次世代に引き継ごう」を基本理念に掲げ、3月27日(日)に上毛町地域づくり協議会が設立されました。

「上毛町コミュニティ計画」を推進し、地域づくりを行う方々をサポートする「中間支援組織」としての役割を担うとともに、常にまちづくりの先頭に立って行動する組織を目指していきます。

現在、地域づくり活動を行う27団体が加入しています。

7月には、協議会の活動拠点施設が、大池公園ふるさと手づくり村(うどん工房跡)に完成する予定です。交流場所として、また、情報発信基地としての活用を考えています。町内外を問わず、多くの方に利用していただけるよう、皆さん一緒に上毛町を盛り上げていきましょう。

ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。

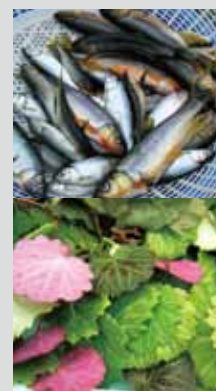
- 正会員 地域づくり活動事業で認定され、3年間活動した団体
- 準会員 地域づくり活動事業で認定され、町の補助事業を継続している団体
- 賛助会員 協議会の活動趣旨に賛同する団体または個人



## 事業計画と予算が成立し、 本格的に始動します。

5月29日(日)に、上毛町地域づくり協議会総会が、上毛町役場大会議室で開催されました。出席者は23名で、設立初年度となる平成23年度の事業計画や予算案等が事務局から提案されました。会員の活動サポートのほか、拠点施設のオープン記念イベントや交流会を開催して情報交換を行ったり、皆さんのスキルアップのために研修会を開催する計画です。

議案は、すべて満場一致で承認。上毛町で新しい地域づくりの形が生まれ、いよいよ本格的に始動することになりました。



### 4月から「地域づくり活動事業」の担当となりました。

横溢する地域のチカラに学びながら、行政職員として、あるいは一個人として、皆さんの活動のお役に立てるよう日々精進していきたくと思っています。よろしくお願ひします。

さて、5月29日(日)、地域づくり活動団体として、新たに5団体が認定されました。提案されたのは、集落を基本としたコミュニティづくりをはじめ、神楽の継承、スポーツ交流による地域の活性化、地場産木材を活用したブランドづくり。特に今回は、「地域を活性化したい」と奮起する若者のプレゼンが印象的でした。

上毛町コミュニティ計画に掲げられた「88プロジェクト」には、地域特有の課題を解決するための活動が列挙されています。その切り口は多岐に渡り、集落単位の活動はもとより、様々な地域団体が色々な角度から参画していくことが求められています。

この日、認定された若いメンバーからは、「諸先輩方から指導や助言を頂きながら、進んでいきたい」という気持ちが述べられました。地域づくりの大先輩の活躍ぶりに感化された若者たち。「親父の背中」という言葉を彷彿させる、そんな一場面なのでした。

編集後記

